

月刊しばうら

2025年4月号

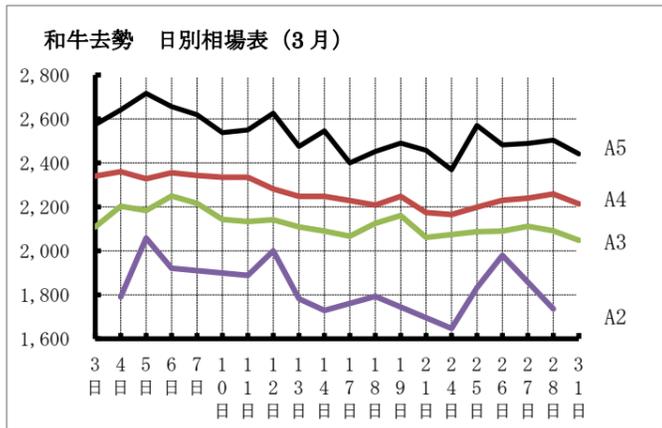
牛肉営業部

＜3月の相場動向＞

例年3月は歓送迎会や卒業式、春休み行楽や花見で、外食産業を中心に交雑牛ロースや和牛ヒレなどの需要が好転する月である。しかし、量販店では関東圏で大手の新規出店が多かったという業界全体を下支えする要因があったものの、昨年から高値が続いている米や野菜価格に落ち着きが見られなかったことから、生鮮品全般の販売数量は牛肉を含め弱含みとなった。

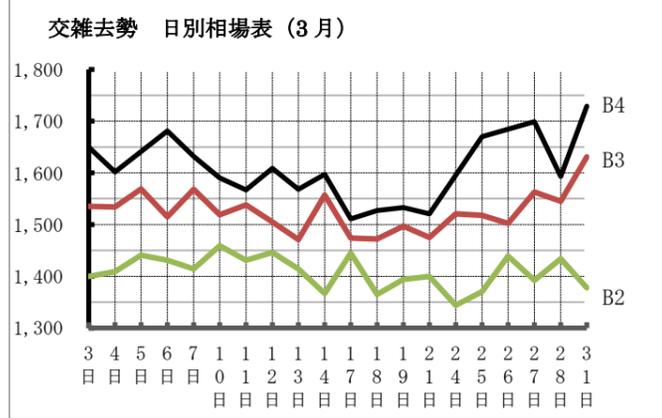
外食産業では気温の乱高下など天候不順の影響で客足が鈍り、相場を押し上げるほどの効果は得られなかった。

結果として枝肉相場は、前月比で交雑2等級を除き、和牛・交雑牛ともに弱含みの展開となった。



和牛去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比		前月比	
A5	2,551円	-2円	99.9%	-34円	98.7%
A4	2,275円	+84円	103.8%	-35円	98.5%
A3	2,137円	+110円	105.4%	-8円	99.6%
A2	1,848円	+187円	111.3%	-18円	99.0%



交雑去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比		前月比	
B4	1,603円	-20円	98.8%	-30円	98.2%
B3	1,518円	-23円	98.5%	-35円	97.7%
B2	1,408円	-35円	97.6%	+4円	100.3%

乳牛去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比		前月比	
B3	-	-	-	-	-
B2	1,157円	-	-	+28円	102.5%

＜4月の牛肉輸入量予測＞

財務省が発表した輸入通関実績によると、2月の輸入量は前年同月比5.3%減の万9,371tで、うちチルドは11.6%減の1万1,068t、フローズンも1.0%減の1万8,303tとなり、ともに前年同月比及び前月実績を下回った。

農畜産業振興機構によると3月の牛肉輸入数量は、前年同月比18.7%減の3万1,200t（チルド24.0%減・冷凍13.8%減）、4月は9.3%減の5万7,300t（チルド13.6%減・冷凍7.6%減）で予測している。

輸入牛肉については現地価格の高止まりと、チルドは主要国からの輸入量の減少が見込まれること等から、3月はかなり大きく前年同月を下回ると予測している。

輸入牛肉通関量		2月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	5,028	5,859	85.8%
	米国	5,206	5,689	91.5%
	その他	971	834	116.4%
	合計	11,068	12,519	88.4%
フローズン	豪州	9,340	7,522	124.2%
	米国	5,349	6,045	88.5%
	その他	3,614	4,926	73.4%
	合計	18,303	18,493	99.0%

出典：食肉速報 単位：t

＜4月の全国出荷頭数予測＞

農畜産業振興機構による4月の出荷予測頭数は、全体で前年比96.8%の9万6,800頭で、品種別にみると和牛は4.5%増の4万8,700頭、交雑種は3.9%増の2万3,200頭、乳用種は9.3%減の2万4,400頭と予測している。

東京食肉市場の4月のと畜頭数は7,950頭を予定しています。

＜4月の牛枝肉相場見通し＞

4月は気温が上昇し、花見などの行楽需要や入学、就職祝い、さらにゴールデンウィークに向けた手当が見込まれる。和牛については「和牛肉販売促進等支援緊急対策事業」を活用した販売促進に期待したいところだが、ヒレやランプといった人気部位や、低価格帯の部位に注文が偏るとみられ、下値は安定する一方で相場的大幅な上昇は見込めない状況だ。

交雑種は量販店などからゴールデンウィーク向けのバーベキュー商材として需要が高まるとみられ、堅調な相場展開が予想される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,350～2,600	B4	1,700～1,800
A4	2,200～2,350	B3	1,600～1,700
A3	2,000～2,200	B2	1,450～1,600
A2	1,800～2,000		
乳牛去勢			
B3	1,200～1,300		
B2	1,100～1,200		

豚肉営業部

2月の全国と畜頭数は、129万95頭（前年同月比6.2%減）と前年を下回った。また、2月の豚肉通関数量は7万1,961t（前年同月比11.5%増）と前年を上回り、前月比では10.7%の減少となった。内訳はチルドが2万7,623t（前月比14.6%減）、フローズンは4万4,338t（同37.6%増）となった。

2024-2025年の需給量と推定期末在庫						
月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
2	77,558	64,527	21,439	165,686	76,853	72,013
3	77,333	74,351	23,117	166,119	75,518	73,918
4	78,976	98,780	22,670	174,059	79,317	90,840
5	76,183	94,087	24,239	189,925	74,520	78,221
6	66,310	81,660	24,750	193,156	65,692	78,429
7	71,679	86,155	23,227	195,529	73,101	83,782
8	65,651	84,078	22,108	200,290	66,675	79,317
9	68,773	78,666	21,580	201,197	69,219	77,759
10	7,9625	86,742	21,384	201,922	79,699	86,017
11	78,361	78,216	21,389	194,797	78,249	85,341
12	80,661	76,518	22,458	185,736	79,425	85,579
1	79,908	80,505	23,536	190,508	78,746	75,733
2	72,607	71,911	24,121	192,819	71,884	69,600
比	94%	111%	113%	116%	94%	97%

出典：農畜産業振興機構 比：最終月の前年同期比 単位：t

2月 豚肉通関実績					
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比
アメリカ	10,833	90.0%	デンマーク	7,959	114.7%
カナダ	14,065	84.7%	スペイン	31,104	156.4%
メキシコ	2,722	74.1%	メキシコ	9,327	88.9%
			アメリカ	8,409	119.8%
			カナダ	5,616	100.5%
合計	27,623	85.4%		92,831	133.3%

単位：t

＜3月の豚取引の推移＞

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
3日	65,900	600	585	918
4日	67,000	612	593	1,050
5日	66,600	632	593	861
6日	67,000	609	583	1,058
7日	64,900	613	588	1,125
10日	65,300	610	587	904
平均	66,117/日			986/日

関東では気温が急上昇したこともあり鍋物商材の引き合いが鈍化した。出荷頭数が伸びなかったこともあり、相場は600円絡みの展開となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
11日	67,200	622	601	895
12日	67,200	620	601	786
13日	67,000	609	588	898
14日	64,700	615	589	1,019
17日	70,700	620	603	856
18日	71,500	625	600	1,021
19日	73,100	627	592	1,044
平均	68,771/日			931/日

末端消費はそれほど強いわけではなかったが、相場は引き続き600円台で推移し、飛び石連休に向けた手当てもあって強もちあいの展開となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
21日	64,500	629	609	990
24日	66,800	607	586	1,124
25日	69,000	616	592	1,003
26日	67,400	598	585	902
27日	65,400	608	577	915
28日	63,800	618	594	1,046
31日	64,900	591	574	944
平均	65,971/日			989/日

3月としては異例の真夏日を記録するなど、全国的に気温が上昇し、都心でも桜が開花となった。春休みに入り、学校給食向けの荷動きが止まったことから、相場はやや軟調な展開となった。

＜4月の豚枝肉相場見通し＞

農林水産省による令和7年4月の肉豚出荷予測では140万3,000頭（前年比99.6%）と予測している。当市場の4月集荷予定せり頭数は2万頭、1日あたりでは約952頭を見込んでいます。

農畜産業振興機構によると4月分の豚肉輸入見込数量は、総量で8万2,500t（同83.5%）、内訳は冷蔵輸入量が3万1,000t（同92.0%）、冷凍輸入量は5万1,500t（同79.1%）と予測。

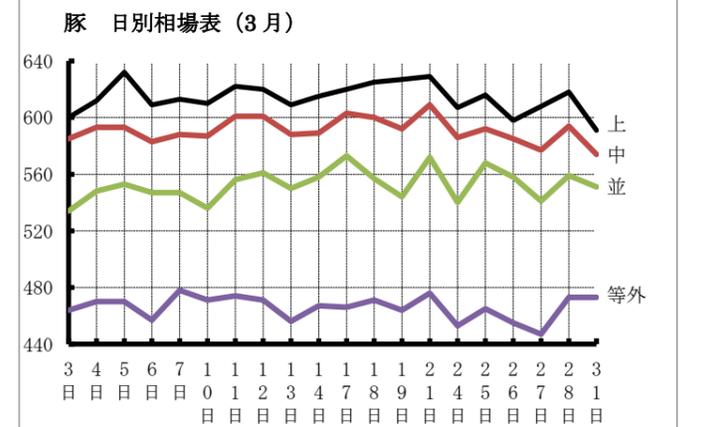
冷蔵品輸入量は、円安や現地相場高の影響等により米国産輸入量の減少が見込まれること等から、前年同月をかなりの程度下回ると予測する。

冷凍品輸入量は国内在庫がひっ迫している中で例年3月に行われる通関保留が少なく見込まれること等から、前年同月を大幅に下回ると予測する。また、3ヵ月平均では前年同期をわずかに上回ると予測する。

気象庁の予報によると、4月は全国的に平年並みか平年よりも暖かい気温が予想されている。新年度を迎え、お花見などの行楽や学校給食の再開で消費が増え、中旬から下旬にかけてはゴールデンウィークの手当て買いも強まることから豚肉相場への影響もありそうだ。

全国的に出荷頭数は例年並みと予想されているが、疾病の影響や昨年の猛暑による繁殖率の低下から、思った以上に出荷頭数が増えない可能性もありそうだ。また、国産冷凍品も相場高が続いている影響で各業者の在庫量が少ない為、凍結玉を確保する動きもあるが、価格が上がりれば夏場に向けた在庫の確保が難しくなりそうだ。

以上のことから当市場の上物平均価格は630円前後、中物平均価格610円前後の展開と予測する。



東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127